

今年も飛来しました

オシドリ観察小屋オープン



今年もたくさんのオシドリが飛来

11月1日、今年もオシドリ観察小屋がオープンしました。日野川沿いにある観察小屋は、9月の台風12号で浸水しましたが、運営するオシドリグループの会員らが片付けなどを行い、無事オープンができました。当日も、県内外から多くの人が訪れ、オシドリの姿を楽しんでいました。

観察小屋でオシドリ観察ができるのは、来年の3月まで。ピーク時には約千羽を間近に観察することができます。見ごろは午前7時ごろから午前8時ごろ、および午後4時ごろから日没まで。皆さんもぜひ、仲むつまじいオシドリたちに会いに来てみてください。

町の医療・介護を問う

医療・介護・保健住民座談会



医療・介護などについて具体的な意見交換を行う

町の医療・介護・保健について語る住民座談会が上菅集会所で開かれ、地域が抱える医療環境の諸課題や対策について意見交換しました。

日野病院と役場健康福祉課からは医師、看護師、相談員、保健師など多様な職員が出席。病院への思いや健康づくり、医療費の負担軽減など直接意見を交わすと「通院の時間的・経済的負担」「高齢化による通院の困難さ」などの問題が明らかになりました。参加者は「交通行政改革」「上菅地区への診療所開設」「在宅医療の拡大」を期待しました。

この座談会は、医療・介護・保健についての不安解消や住民で支える方法をともに考えることが目的です。

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）

出会いと楽しい交流の場

第2回みんなの集い開催



会場内は笑顔が溢れる

65歳以上の高齢者を対象に、出会いと交流の場をつくろうと町社会福祉協議会が主催し、第2回みんなの集いが山村開発センターで開かれ、町内から50人が参加しました。食事サービスボランティアによる手作りのお弁当を食べた後、舟場昭和会による銭太鼓の披露、町図書館によるおはなしの出前、川上正治さん（根雨）によるハーモニカの演奏が行われ、会場には笑顔があふれました。

参加者は皆さんが「楽しかった」と声をそろえます。町社会福祉協議会生田良和事務局長は「今後も続けていきたい。たくさんの人に参加してほしい」と意気込みを話しました。

紅葉見ながら健康づくり

もみじ開運ウォーキング開催



自分のペースで歩く

紅葉の見ごろを迎えた滝山神社から金運・開運で有名な金持神社までを歩く、第4回もみじ開運ウォーキングが開かれ、町内外から約100人が参加しました。

色とりどりに紅葉した山々を眺めながらのウォーキングは心が弾み、参加者からは笑顔がこぼれました。また、金持神社札所では地元自治会などが用意したおこわや温かい豚汁が好評で、雨の中歩いて冷えた参加者らの体を温めました。

終了後は、オシドリ観察小屋でオシドリ観察を行う参加者も。オシドリたちは参加者を迎えるように、観察小屋近くまで姿を現してくれました。

## 俳句の里にしたい

初音句会が俳句大会開催



因幡二十士の遺品を見学する参加者ら

「日野町を俳句の里に」を合言葉に活動している町初音句会（頭本征保会長）が主催し、第3回ひの俳句大会が町公民館で開かれました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、町内外から多くの俳句愛好家が参加。自作の句を持ち寄ったり、黒坂の泉龍寺に吟行に出かけました。同寺では、三島住職に因幡二十士の逸話を聞いたり、風情ある庭を眺めたりと交流を深めました。

今回は、選者に美柑みつはるさん（日本海俳壇選者）と大谷正子さん（俳誌「夏爐」の同人）を迎え、優秀句を表彰しました。

【日野町長賞】通草食ぶ口中に種あそばせて（米子市 長曾美沙子さん）

## 郷土玩具の伝承に努める

松本節哉さん、活動が認められ表彰



松本節哉さんのますますの活躍を期待します

年齢にとらわれず生き生きと生活を送っている高齢者に贈られる「エイジレス・ライフ実践者表彰（内閣府）」に松本節哉さん（本郷）が選ばれました。

松本さんは長年、和だこや竹とんぼ、こまなどの郷土玩具を伝承しようとして活動。放課後子ども教室をはじめ、町内外の教室・催しで指導者として活躍しています。

10月28日、景山町長と山本教育長に受賞報告を行うため来庁。元気な姿を見せてもらいました。「受賞を励みに今後も継続して活動に取り組みたい」と誓いました。景山町長からも「これからも元気で頑張ってください」と激励を受けました。

## 大きな舞台で輝きを増す

多賀駿平さん（根雨）  
ジュニアオリンピック出場



大舞台で力を出し切る多賀さん

10月28日から30日まで、横浜市の日産スタジアムで行われた第42回ジュニアオリンピック陸上競技大会（ジャバリックスロー（小中学生版）投げ）に、日野中学校3年生、多賀駿平さん（根雨）が鳥取県の代表として出場しました。

県予選で優勝し、臨んだ同大会では、これまでの自己記録を3m更新する56.55を投げ、出場45人中20位と健闘。今後についても陸上競技を続け、インターハイを目指して頑張りたいです」と抱負を語りました。

ジャバリックスローはやり投げの小中学生版種目。長さ約70cm、重さ約300gのプラスチック製やりを投げる日本独特の種目です。

## おしどり夫婦23組に記念品贈呈

結婚50周年（金婚）の皆さん

今年結婚50周年を迎えられた町内の夫婦に11月8日、町から金婚の記念品が贈られました。

今年の該当者は、昭和36年に婚姻届を出された、または37年中に第一子が誕生した次の皆さんです。おめでとうございます。（敬称略・順不同）

- ▼安達光夫・京子（下黒坂）▼阿邊昌弘・初子（根雨）▼生田英明・遵子（根雨）▼石田哲順・ヨシ卫（下榎）▼梅林寛昭・壽賀子（金持）▼佐々木傳・幸子（上菅）▼柴田岸雄・登志子（本郷）▼柴田利己・悦子（三土）▼柴田博・和枝（上菅）▼柴田廣己・壽美子（本郷）▼杉原章・しづか（安原）▼世垣茂男・範子（黒坂）▼谷内守・和子（濁谷）▼谷口澄男・美佐子（黒坂）▼長尾照正・恵美子（小原）▼長尾文雄・文恵（門谷）▼西村春夫・梢（下榎）▼西村敏昭・サヨ子（下榎）▼前田正博・品子（下榎）▼松本勝美・洋子（本郷）▼山田元氣・須賀子（津地）▼水谷健一・澄江（上菅）▼若林尚允・昌枝（根雨）